

# 留 学 報 告 書

記入日:2016年7月28日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部史学地理学科考古学専攻
留学先国	台湾
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 国立台湾大学 現地言語: 國立臺灣大學
留学期間	2015年9月～2016年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	文學院人類学系 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年6月28日
明治大学卒業予定年	2018年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月上旬～1月下旬 2 学期:2月下旬～6月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	33000人
創立年	1928年

留学費用項目	現地通貨(台湾ドル)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	88800	293040円	
食費	60000	198000円	
図書費	10000	33000円	
学用品費	500	1650円	
教養娯楽費	20000	66000円	
被服費	6000	19800円	
医療費	0	0円	入院治療費は保険でカバーされた
保険費	21200	70000円	形態:明治大学指定の保険
渡航旅費	24240	80000円	
雑費	25000	82500円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	254940	843990円	

## 渡航関連

渡航経路:航空機

渡航費用

チケットの種類 格安チケット

往路 40000

復路 40000

合計 80000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

skycanner

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 )

3)住居を探した方法:

オンライン学生登録の際に記入フォームがあった

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

とにかく湿気がひどく部屋中がカビまみれになった

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会がなかった

利用した:日本語が通じる留学保険の提携病院を利用した

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

台湾大学の国際教育事務室を利用した

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

カギをかけていたにもかかわらず自転車を盗まれた。諦めてすぐに新しい自転車を購入した。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

現地で3G のプリペイド契約をしたが部屋では圏外で寮の有線インターネットを wifi にして使った

5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

国際キャッシュカードで日本の口座から引き出した

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本のものは大体手に入るが価格が高い

## 卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

海外大学院(韓国、学校は未定)

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

語学資格の高スコアを取れば奨学金を利用して留学の選択肢を広げることができる

7)その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
現代中国と世界 1842-1911/ 1911-1979		現代中国と世界
科目設置学部・研究科	一般教養科目	
履修期間	2015年9月-2016年1月、2016年2-6月	
単位数	3×2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 100分 討論 50分(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	王遠義	
授業内容	近現代の中国を中心としたアジアの政治史	
試験・課題など	中間試験、期末試験、レポート	
感想を自由記入	授業内容に政治的な偏りが見られ、気分が悪くなることもあった レポートは授業で扱った内容と関連した小説が課題として発表され、その中から一冊選んで読書感想文を書く形式だった	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
東亞藝術史概論		東亜芸術史概論
科目設置学部・研究科	一般教養科目	
履修期間	2015年9月-2016年1月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 100分 討論 50分(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	蔡君彛	
授業内容	中国、韓国、日本の古代から現代までの美術史	
試験・課題など	グループ発表、個人発表、博物館レポート、期末レポート	
感想を自由記入	英語の科目だったので討論についていけなかったが授業内容自体はとても興味深いものだった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
展示臺灣:從博物館看臺灣文史		Taiwan Museums
科目設置学部・研究科	一般教養科目	
履修期間	2015年9月-2016年1月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 100分 討論 50分(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	蔡君彛	
授業内容	博物館の成り立ちと役割などを臺灣の博物館を例として学ぶ	
試験・課題など	グループ発表、博物館レポート、期末レポート	
感想を自由記入	上と同じ先生の英語科目で討論が大変だった。授業に行くときTAが全員に毎回お菓子を用意してくれていた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
中国書法史		中国書法史	
科目設置学部・研究科	一般教養科目		
履修期間	2016年2月-6月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 150分(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	盧慧紋		
授業内容	古代から清代までの中国書道の歴史		
試験・課題など	中間試験、期末試験、博物館見学レポート、小レポート		
感想を自由記入	専門用語が多く難しかった		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
中国繪畫史		中国繪画史	
科目設置学部・研究科	一般教養科目		
履修期間	2015年9月-2016年1月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 100分、グループ発表と討論 50分(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	林聖智		
授業内容	古代から明代までの中国繪画史		
試験・課題など	中間試験、期末試験、グループ発表(希望者)、期末レポート		
感想を自由記入	先生の中国語が聞き取りやすく、授業内容が充実して本当に面白かった。先生が京都大学大学院卒業で日本の美術と関連した話題も多かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
國際生華語(一)/(二)		General Chinese Course	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2015年9月-2016年1月、2016年2-6月		
単位数	3×2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義50分×2が週3日(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が3回		
担当教授	劉芸青		
授業内容	交換留学生向け中国語語学コース		
試験・課題など	小テスト、宿題(作文、教科書本文録音など)、グループ発表、個人発表、中間試験、期末試験		
感想を自由記入	課題が多く厳しい先生だった		

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	大学受験
4月～7月	明治大学入学、中国語の学習と協定留学の情報収集開始
8月～9月	HSK4級合格
10月～12月	書類選考、面接 HSK5級合格 学内選考合格
2015年 1月～3月	
4月～7月	留学手続き 韓国語能力試験2級合格
8月～9月	出発
10月～12月	中間試験
2016年 1月～3月	期末試験 韓国へ短期留学(3週間)
4月～7月	疲労骨折で病院受診 期末試験 肺炎で2日間入院 帰国
8月～9月	単位認定面談
10月～12月	韓国語能力試験受験 HSK6級受験

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	高校一年生の夏にニュージーランドにホームステイしたことがきっかけで大学生の間に海外で生活してみたいという思いがありました。当初は英語や古代ローマに関心がありヨーロッパへの留学を考えていましたが、高校二年生の終わりごろからアジアに関心を持つようになり、中国語と韓国語を両方マスターしたいと思いつつ留学することにしました。高校三年生から韓国語を独学で始めていましたが、大学入学後中国語を集中して勉強した結果自然と中国語圏へ行きたくくなりました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	とにかく単語力をつける勉強をしていたためリスニングが苦手でした。また中国大陸の中国語にしか触れたことがなかったので繁体字や台湾のなまりに慣れるまで時間がかかりました。ネイティブの会話や授業についていくのは想像以上に大変なので単語や文法ばかり勉強せずに聞き取りや話す練習をするべきだと思いました。
この留学先を選んだ理由	協定校を調べていて、せっかくのチャンスだからできるだけ有名で教育水準が高くキャンパスの立地が良いところへ行きたいと思っていました。当初是北京大学への出願を考えていましたが協定留学制度をよく理解しておらず、必要なHSKのスコアは出発前に提出すればいいと思っていました。卒業は伸ばしたくなかったのでどうしても二年生の秋出発で三年生の夏に帰ってくる必要があり、ほかの中国国内や香港の大学への出願も成績不足やHSKのスコア提出が間に合わないことで諦め、HSKが必要なく中国語圏で教育水準が高く専攻学科もあったことから国立台湾大学に決めました。
大学・学生の雰囲気	とにかく巨大な大学で構内になんでもありました。驚いたのは台湾で最高の大学というだけあって学生がほぼ全員英語を流ちょうに話せるということでした。中国語の科目であっても誰でも当たり前前に英語の教科書や論文を読みこなせるのを見て最初はショックを覚えました。
寮の雰囲気	学期に一回寮主催の日帰り旅行があったり交流スペースで頻りに交流イベントが開かれていました。私は結局やりませんでした。交流スペースに言語交換の掲示板があり自由に利用できました。セキュリティが厳しく入り口や各階のドアにオートロックがかかっていてICキーをかざさないと入れなかったり来訪者は身分証を預けなければいけなかったりしました。
交友関係	ダンスサークルに入ったことで同じ趣味の友達がたくさんできました。サークルに日本人がほとんどいなかったので中国語の上達にも役立ちました。また、サークル内で知り合った日本語学科の人とお互い分からないところを助け合っていました。サークルが忙しかったのと一人での美術館巡りが趣味なこともありサークル外での交友関係は現地では知り合った日本人学生たちとたまに食事をするくらいでした。
困ったこと、大変だったこと	まず、ついてすぐ買った自転車を三週間くらいで鍵をかけていたのに盗まれたことです。次に大学構内で自転車に乗っていて狭い道で対向車とぶつかった際、相手が全くなげをしてないにもかかわらず病院に行く、お前の学生番号を教える、大学に言うぞなどと脅されたことです。結局その後はなにもありませんでしたがその場で自分の考えをうまく表現できず言葉の壁を痛感しました。健康面ではダンスサークルの練習のし過ぎで疲労骨折したこと、帰国直前のテスト期間に肺炎になり2日間入院したことです。テストは補講をしてもらって無事に帰国できました。
学習内容・勉強について	私は考古学専攻で台湾大学では人類学科に所属していましたが、履修したのは興味のある歴史、美術、政治史などでした。中国語の科目は先生の中国語が聞き取れず苦労しました。英語の科目はレポートの量や発表の準備に追われ、討論では英語で自分の意見を言えずノイローゼになったこともありました。中国語の語学クラスは週3回授業があり毎回小テストと宿題があるので大変でした。寮では日本や韓国で買ってきた参考書で韓国語の勉強をすることもありました。
課題・試験について	台湾大学の定期試験ではどの授業も持ち込み不可で指定の解答用紙があり、周りの人がすごいスピードで膨大な長さの答案を書き上げるのを見てついていけないと思いました。論述の問題も日本語でさえ書けないような難解なものばかりでした。ただ、成績の評価は留学生には甘く、きちんと出席して試験を受けレポートを出しさえすれば内容によらず単位はもらえるようでした。
大学外の活動について	土日はずっとダンスサークルの練習で休みがありませんでした。平日の授業がない日や土日に練習がないときを利用して美術館・博物館に行ったり観光したりしていました。連休を利用して高速バスで片道数時間かけて地方に一人旅することもありました。
留学を志す人へ	留学は行ったもの勝ちです。迷っているのなら絶対に行くべきです。就活や進学のことを気にしてためらってしまう人が多いですが、この機会を逃したら留学できるチャンスはなくなると考えてください。学生の間にはしかできないことはたくさんあります。出来ることは何でも挑戦してください。

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	国際生華語		国際生華語	羽級初級	国際生華語		
午後	西欧文明	現代中國與世界		東亞藝術史概論	展示臺灣	ダンスサークル	ダンスサークル
夕刻	中國繪畫史						ダンスサークル
夜	ダンスサークル	ダンスサークル		ダンスサークル			ダンスサークル

